

第1学年 国語科学習指導案

令和元年12月2日(月) 第5校時
授業者 西脇美穂

1. 単元名 くらべてよもう
2. 教材名 「じどう車くらべ」
3. 指導の立場

「じどう車くらべ」は、まず自動車についての話題に始まり、問いがあって、それに対する答えを幾つかの自動車の具体例に沿って説明していく。自動車は、その「しごと」によって「つくり」が異なり、「そのために」を使うことで、それら二つの事柄の因果関係を感じられるような説明の仕方になっている。

以前「くちばし」では、さまざまな鳥のくちばしについて特徴を記した文章を読むことで、説明されている事象を正確に読み取ることと、「問い」と「答え」という説明文の基本の型を学んだ。さらに「うみのかくれんぼ」では、一つの「問い」に対し、三つの「答え」で構成された文章を読んできた。

「くちばし」では、「鳥のくちばしクイズブック」をつくり、図書館に置いて全校のみんなに見てもらおうという課題で学習に取り組んだ。その書き方を知るために学習するというので、どの子も意欲的に取り組むことができた。学習を進めていく中で、「問い」と「答え」がページごとに分けて書いてあること。また、各々の書き方の順番が同じであることに気付き、自作のクイズもその順番で書けばよいと学ぶことができた。「問い」と「答え」の部分は、ほとんどの子が本文をまねて自分で書くことができた。「問い」のヒントの部分や使い方については、本の文章を読み込むのはまだ難しいので、こちらで参考にして欲しい所に印をつけた資料を用意した。初めての第三次では、その印を手がかりに、1割程度の子が自力で、そ

の他は多少の手助けをして完成に至った。

「うみのかくれんぼ」では、かくれ方と関わりのある体の特徴が書かれていることや、書かれている事柄の順序がどれも同じであると気づけるよう学習を進めた。

本単元では、「じどう車ずかん」の完成を目指す。それを作成するために、書き方を学ぶという意義をもたせ、意欲的に学習に向かわせたい。また、言葉を大切に扱うために、曖昧な語句は、動作化などを踏まえて明確にしていきたい。

4. 研究内容の視点から

①研究内容1に関わって

全12時間の単元指導計画である。第一次では、単元を貫く課題を知らせ、学習計画を立てる。第二次では、「しごと」と「つくり」の書き方について学び取っていく。第三次では、それまでの学習を活かして、自分で「じどう車ずかん」を作る活動を位置付けた。

②研究内容2に関わって

(1) 言葉に着目する

「うで」「あし」と表現されている物が、挿絵ではどの部分にあたるのか印をつけたり、自分がクレーン車だったらどんな動きになるのかと動作化をしたりして、言葉の意味を確実に理解させたい。

(2) 学び合いで考えを深める

「さぐる」での全体交流では、まず「考えを確かめ合うための交流」をする。さらに「深める」で「しごと」と「つくり」の関連性に気付かせるために、つくり3として適切なものはどちらか(色は、黄色です。／うでは、フックが付いています。)を考えさせる。この発問をきっかけに、「しごと」と「つくり」には、確かな因果関係があるということに気付かせたい。

5. 単元指導計画

◇単元の指導目標

- ◎知識を得るために、事柄の順序を考えながら内容の大体を読み、本や文章から大事な言葉や文を書き抜くことができる。(知(3)エ、読(1)ア・ウ)
- 事柄の順序に沿って、簡単な構成を考え、文と文の続き方に注意しながら、つながりのある文章を書くことができる。(知(2)ア、書(1)イ・ウ・オ)

単元を貫く課題

「自動車図鑑」を図書館に置いて、全校のみんなに見てもらうために、「そのために」を使った「しごと」と「つくり」の書き方を学び、自分たちの図鑑を作ろう。

次	時	ねらい	学習活動	評価規準 (評価方法)
第一 次	1 2	自動車図鑑を作り、 図書館に置いて、全校 のみんなに見てもら うという活動の見通しを もち、学習計画を立て ることができる。	1. 教師からの「身の回りの物クイズ」(「つくり」と「はたらき」 について考えるきっかけをもたせる)に答え、学習への興味 をもつ。 2. 知っている車の名前を挙げる。 3. 教師が示したような作品を車バージョンで作ることを知る。 4. 単元を貫く課題を知る。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">ずかんにのせたいじどう車をえらび、がくしゅうのけいか くをたてよう。</div> 5. 教師の範読を聞く。 6. 課題を達成するための学習計画を立てる。 7. 自分が図鑑に載せたい車を選ぶ。(本を選ぶ。)	【関】単元を貫く課題 を理解し、意欲的に本 を選ぶことができる。 (発言・本を選ぶ様子)
第二 次	3	全体を読んで、問い の文をとらえ内容の大 体を読み取ることがで きる。	1. 本時の課題を確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">「じどう車くらべ」を「もんだい」と「こたえ」のページ にわけよう。</div> 2. 教師の全文の範読を聞く。 3. 「問題」と「答え」のページに分ける。 4. 「問題」で聞かれていることを確認する。 5. 次の時間から、「答え」として書かれていた「しごと」と「つ くり」について読み取っていくことを確認する。	【読】「問題」と「答え」 の部分に正しく分け、 何について聞かれてい るのかを捉えることが できる。(教科書への書 き込み・発言)
	4	バスや乗用車、トラ ック、クレーン車の「し ごと」について読み取 ることができる。	1. 前時の学びを振り返り、課題を確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">それぞれのじどう車は、どのような「しごと」をしてい るのだろう。</div> 2. どのような仕事をしているか予想をして、自分の言葉で発表す る。 3. 教科書に、どのように書いてあるか知るために、バスや乗用車 の「しごと」について分かる本文に赤で線を引いたり、絵と結 び付けたりする。(一人→全体) 4. トラックとクレーン車の「しごと」がどこに書かれているか を見つけ、赤色で線を引く。(一人→全体) 5. 3つの書き方を比べた感想を述べる。(ペア) 6. それぞれが同じ書き方であることに気付く。	【読】3種類の自動車の 仕事を本文の「～は、 …しごとをしています。」の文に注目して 見つけることができ る。(教科書への書き 込み、発言)
	5	バスやじょうよう車 の「しごと」を確認し、 「つくり」を読み取る ことができる。	1. 前時の学びを振り返り、課題を確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">バスやじょうよう車の「つくり」をよみとろう。</div> 2. 「つくり」についてわかる本文に青で線を引いたり、絵と結び 付けたりする。	【読】座席や窓の作りが 工夫されていること を読み取り、教科書の 必要な文を書き抜く ことができる。(発言、

		<ul style="list-style-type: none"> 3. 見つけた「つくり」について全体で交流する。 4. 「そのために」が文と文をつなげていることをおさえる。 5. バスとじょうよう車の図鑑を作る。 	ワークシート)
6	トラックは、荷物を運ぶために広い荷台があるだけでなく、重さに耐えられるように、たくさんタイヤがついた「つくり」になっていることも大切にして説明されていることを理解することができる。	<ul style="list-style-type: none"> 1. 前時の学びをふり返り、課題を確認する。 トラックの「つくり」をよみとろう。 2. 「つくり」についてわかる本文に青で線を引いたり、絵と結び付けたりする。 3. 見つけた「つくり」について全体で交流する。 4. 「そのために」が文と文をつなげていることをおさえる。 5. トラックの図鑑を作る。 	【読】荷台やタイヤのつくりが工夫されていることを読み取り、本文から必要な文を書き抜くことができる。(発言、ワークシート)
7 本 時	クレーン車の「つくり」を読み取っていく中で、「しごと」と「つくり」には、事柄を説明する上で順序性があることや「そのために」でつながっていることに気付くことができる。	<ul style="list-style-type: none"> 1. 課題を確認する。 クレーン車の「つくり」をよみとっていくなかで、じぶんのずかんづくりでつかえそうなかきかたを見つけよう。 2. 「つくり」についてわかる本文に青で線を引いたり、絵と結び付けたりする。 3. 見つけた「つくり」について全体で交流する。 4. つくり3について考える。 5. 自分の図鑑作りに役立ちそうな書き方をまとめる。 	【読】「しごと」と「つくり」の関連性や順序性に気付き、第三次に活かそうとまとめることができる。(発言、ワークシート)
8	はしご車の「しごと」と「つくり」をとらえて、説明の文を考えることができる。	<ul style="list-style-type: none"> 1. 前時までの3種類の自動車の「しごと」と「つくり」について振り返り、課題を確認する。 はしご車の「しごと」と「つくり」をかながえて、ずかんをつくらう。 2. はしご車の「しごと」について考え、発表する。 3. 挿絵を見て、「しごと」にあった「つくり」を考える。 4. 全体交流 5. 板書から、「しごと」と「つくり」を自分で選んで、はしご車の図鑑をつくる。 	【書】事柄の順序に沿って、簡単な構成を考え、文と文の続き方に注意しながら文章を書くことができる。(発言、ワークシート)
第 三 次	9 10 「しごと」と「つくり」の構成を考えたり、「そのために」を使ったりして自動車図鑑を書くことができる。	<ul style="list-style-type: none"> 1. 課題を確認する。 じぶんがえらんだじどう車のずかんをつくらう。 2. 書く内容の順番を確認する。 3. 「しごと」「つくり」の項目ごとに文章を考える。 4. 教師よりアドバイスを受ける。 5. 「そのために」を用いて、下書きを完成させる。 6. 仲間同士で、校正する。 7. 発表の練習をする。 	【書】事柄の順序に沿って、簡単な構成を考え、つながりのある文章を書くことができる。(ワークシート)
11 12	自動車図鑑の発表会をし、感想を伝え合うことができる。	<ul style="list-style-type: none"> 1. 課題を確認する。 じどう車ずかんのはっぴょうかいをしよう。 2. 絵を見せながら学級の仲間に自分の自動車を発表する。 3. 自分のものと比べながら、仲間の発表を聞く。 4. 感想を発表する。 5. 振り返りをする。 6. 図書館に、1年生の自動車図鑑を置きに行く。 	【関】自分のものと比べながら友だちの発表を聞くことができる。(振り返りシート)

6. 本時の展開 (7/12)

(1) 本時のねらい

クレーン車の「つくり」を読み取っていく中で、「しごと」と「つくり」には、事柄を説明する上で順序性があることや「そのために」でつながっていることに気付くことができる。

(2) 本時の展開

	ねらい	学習活動	教師の指導・援助
つかむ 【3分】	本時の課題をつかむことができる。	1. 本時の学習課題を確認する。 クレーン車の「つくり」を読み取っていく中で、自分の図鑑作りで使えるような書き方を見つけよう。	・第三次の活動と関連させて、学ぶ目的を話す。
さぐる 【14分】	クレーン車の「つくり」について、「そのために」をキーワードとし、その後二つ書かれていることを読み取ることができる。	2. 本時学習するクレーン車についての文章を一文ずつ分けて、音読する。 ・しごと…教師 ・つくり1…男子 ・つくり2…女子 3. クレーン車の「しごと」について確認する。 ・クレーン車の「しごと」は、おもいものをつりあげること。 4. クレーン車の「つくり」を読み取り、青い線を引いたり、絵とつなげたりする。(一人読み) 5. 見つけた「つくり」について <u>全体交流</u> をする。 ・じょうぶなうでがのびたりうごいたりする。 ・車たいがかたむかないように、しっかりしたあしがついてる。	・読み分けて「しごと」と「つくり」を意識させる。 ・正しい姿勢で読ませる。 ・机間指導でつなげ方を確認する。 ・語句など曖昧な点について、動作化をするなどして確認する。(つり上げる、うで、あし)
深める 【15分】	「しごと」と「つくり」には、関連性があることに気付くことができる。	6. つくり3について考え、 <u>全体交流</u> をする。 つくり3として加えてもよいのは、どちらでしょう。 ① 「色は、黄色です。」 ② 「うでは、フックが付いています。」 ・②がよい。フックがないと、おもいものをつり上げるしごとができないから。 ・①は、しごとと関係ないからつくり3にはしてはいけない。	・理由まで考えさせ、「しごと」と「つくり」の関連性に気付かせる。
まとめる 【13分】	自分の図鑑作りで使えるような書き方を見つけられることができる。	7.トラックとクレーン車の書き方を比べて、似ているところを発表する。 発表で出た言葉をキーワードとして示す。 しごと つくり そのために 8. ワークシートに、書き方の順番や、大切な言葉「そのために」を記入し、自分で使えるような書き方をまとめる。 ・「しごと」と「つくり」を「そのために」でつなげる。 ・「しごと」「そのために」「つくり」の順番で書く。 ・「しごと」に関係する「つくり」を書く。	・第三次を意識させるために、本時まとめたことを活かして図鑑を作成するよう伝える。 評価規準・評価方法 【読むこと】 「しごと」と「つくり」の関連性や順序性に気付き、第三次に活かそうとまとめることが出来る。(発言・ワークシート)

